

# 東南アジアの自然と農業研究会

## 第89回研究例会ご案内

第 89 回研究会例会を開催致します。今回は、京都大学大学院農学研究科の倉島 孝行 氏に下記のようにご報告していただきます。皆様の多数のご参会と活発な討論を心から期待してお待ちしております。

### 記

日 時 : 1999 年 6 月 11 日 ( 金 ) 16:00 ~ 18:00  
会 場 : 東南アジア研究センター 共同棟 3 階セミナー室  
( 京都市左京区下阿達町 46 川端通り荒神橋東詰め )  
話題提供者 : 倉島 孝行 氏  
話 題 : 「東北タイの寺の森が辿った土地利用の変遷とその背景  
- コンケン市近郊農村を事例として - 」

### ~ 要旨 ~

1995 年現在、森林率が 12% 台まで落ち込んでいる東北タイでは、残された森林を「維持していく」と同時に、農村部の地域住民を広く巻き込みつつ、新たに森林を「造っていこう」という政策が展開されている。そうしたなかで実際の造林場所として主に機能しているのが、農村部一円に広く存在する公益地、寺領地、学校地等である。これまで公益地、学校地に関して、ある程度多くの研究例が報告されている一方、寺領地に関しては、量、質ともいまだ十分な研究がなされているとは言えない。

本発表では、ここ 30 年の間に、「耕地化 - 耕作中止 - 造林」という土地利用の変遷を辿ったコンケン市近郊 1 農村の「寺の森」を舞台に、「いったん菜園化された土地に再び森が造られようとしている」背景を、主に村の農業環境の変化、農業技術の進展、加えて村と寺との関係、僧侶の人物像等といった要因をも随所に織り交ぜつつ、論じてみたい。

問い合わせ先：

京都大学農学部地域環境科学専攻（旧熱帯農学専攻） 松田正彦

Tel.075-753-6374 E-mail matsuda@kais.kyoto-u.ac.jp

京都大学東南アジア研究センター 田中耕司

Tel.075-753-7307 E-mail kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp

---

### ~ 第 90 回例会予告 ~

日時 : 1999 年 7 月 16 日 ( 金 ) 16:00 ~ 18:00  
話題提供者 : 柳澤雅之氏 ( 京大東南アジア研究センター )  
話題 : 「ベトナム紅河デルタ村落における起業家たち  
- コックタイン合作社におけるジャガイモ栽培から - 」